

総括

■ 機能種別

主たる機能種別「慢性期病院」を適用して審査を実施した。

■ 認定の種別

書面審査および1月22日～1月23日に実施した訪問審査の結果、以下のとおりとなりました。

機能種別	慢性期病院	認定
------	-------	----

■ 改善要望事項

- ・機能種別 慢性期病院
該当する項目はありません。

1. 病院の特色

貴院は明日佳グループの一施設として、グループ全体でそれぞれ役割を担うなかで診療圏域の医療を展開している。現在は、療養病床219床を有する慢性期の病院として、地域のなかで役割や機能を明確にし、地域医療の発展に貢献し信頼を得られている。この間は地域分析のもとで、地域から求められる医療を展開するために大幅な増床を行い、これまで以上に患者を受け入れ、地域の要求に応えられている。

今回は更新のための病院機能評価受審であり、院長を中心として役職員が一丸となり様々な改善活動が各部署で継続的に展開されていた。理念・基本方針の実践のために継続的な取り組みのもとで、さらなる質の向上も期待される。今後、各項目の評価内容や評価所見を参考に期中での点検を行い、特に入院を中心とした医療の提供とともに、地域住民のニーズに応えるために、地域になくてはならない病院として、さらなる貢献・活躍されることを祈念する。

2. 理念達成に向けた組織運営

理念・基本方針は適正な内容で確立して周知され、点検や見直しが定期的に行われている。病院管理者は各自の責任分野の課題を把握して解決に向け取り組むなど、リーダーシップが発揮されている。職員の労働意欲を高める組織運営では、育成面談を通して目標に対する振り返りを行うことで労働意欲を高めている。入院を中心とした医療活動の再編のなかで、当面の計画に基づき今年の方針が決められ、職員に周知されている。意思決定会議の開催や組織内の情報伝達と確認も含め、組織運営が行われている。文書管理は一元管理がされているが、改訂履歴の管理など

も仕組みについては整備に期待したい。

人材の確保については、各部門において必要人数が確保されている。職員の意見や要望は、職員満足度調査が行われ、要望の把握とともに働きやすい職場づくりを目指している。福利厚生では就労可能な労務管理が実践されているが、安全衛生の分野に関してはさらなる整備を期待する。教育・学習では、部署や委員会主導で必要な研修は行われているが、病院組織およびグループとしての年間計画策定のもとで、必要な研修の実施が望まれる。研修の評価や次に繋げるための取り組みなどは充実している。学生実習は、リハビリ部門を中心に継続的に受け入れが行われている。

3. 患者中心の医療

患者の権利が明文化されており、ホームページなどで周知され、職員への周知も適切に行われており、具体的な内容の点検・見直しについて毎年幹部会議で確認されている。診療録開示について明文化されている。セカンドオピニオンの手順が整備され、患者・家族への周知がなされている。説明と同意では、方針・手順はあるが同意者の署名については確実な実施が望まれる。患者への情報提供や医療への参加促進では、患者の療養に役立つ情報提供が行われているが、さらなる活用に期待したい。患者相談窓口として地域連携室が多様な相談に対応しており、様々な患者サポートが確立されている。個人情報保護に関しては、管理体制、対応手順、セキュリティ対策など管理されている。倫理的な課題に関する日常的な倫理的課題の分析や継続的な取り組みはされているが、倫理の職員研修については積極的な取り組みに期待する。患者・家族の倫理的課題等を把握に関してもシステムとして構築することを期待したい。

療養環境では、患者・面会者の利便性・快適性に配慮して整備されている。病棟においては、安全の視点で廊下の整理整頓や、院内感染制御に配慮した療養環境が整備されている。外来における待ち時間が把握され、待ち時間軽減に向けた具体的な取り組みも定期的に行われている。

4. 医療の質

業務の質改善活動として、継続的に病院機能評価を受審されている。今後は部門横断的な活動にも期待したい。医師と多職種による症例検討会は行われているが、各種臨床指標の収集、公開、現場での実践などは、今後の活用に期待する。患者からの苦情や意見の収集がなされ、三役会議で検討している。それぞれの課題について該当部署で検討し、病院全体の改善に繋げている。必要に応じて患者個人へのフィードバックとともに掲示も行われている。自院で初めて行う診療・治療方法などは、病院として審議し、管理者が確実に把握できる仕組みの構築を望みたい。

診療・ケアの管理・責任体制は明確である。診療記録は基準に則り適時適切に記載されているが、質的点検については記録として残すことを望みたい。退院サマリーの作成率については100%に向けた整備が進められている。

5. 医療安全

医療安全管理委員会の設置のもと、各委員会が稼働し、責任者が専任で組織横断的な活動が行われている。インシデント・アクシデントレポートの提出後は、各部署で再発防止策を検討し、医療安全管理委員会でも検討されている。再発防止策は院内ランを通じて全職員が閲覧できる仕組みとなっている。

病棟では患者誤認防止としてリストバンドなどを使用している。医療事故発生時に発動する委員会があり、調査・分析に関する組織的な検討を行う仕組みがある。医師の指示出しから実施に至る過程は、指示の中止・変更への対応について整備されている。薬剤の安全使用では、向精神薬の鍵管理、法令に則った麻薬の管理について、見直された基準・手順に沿った内容で徹底することを期待する。転倒・転落予防は、「転倒・転落対応マニュアル」に沿って対策が実施されている。患者等の急変時対応では、招集訓練およびBLS訓練を確実に実施することが望まれる。

6. 医療関連感染制御

ICTが中心的な活動をしており、院内ラウンドや院内のマニュアル遵守の有無を確認している。感染発生状況の把握はICTが行い、特定微生物の検出状況、薬剤感受性は検査室からICTに報告され集計されている。アウトブレイクの定義・対応に関しては疾患別のアウトブレイクの定義と運用が望まれる。

医療関連感染を制御する活動では、速乾式消毒剤の使用量のモニタリングは行われているが、フィードバックするシステムについての取り組みに期待したい。抗菌剤の採用・削除は、薬事審査委員会で決定され、院内における分離菌の感受性パターンはICTが把握し、委員会に報告するシステムとなっている。また、使用状況・投与期間をICT薬剤師が把握している。

7. 地域への情報発信と連携

担当者配置のもとで、ホームページの設置と内容の充実を図り、病院が提供する医療サービスや活動内容、外来や入院の受診手順等について発信している。SNSの活用はあるが、広報誌などは作成されていないため、高齢者が多い地域でもあるためさらなる充実を期待したい。診療実績などの病院の特徴を示す臨床指標等の情報に関しても、地域医療機関や施設に向けた発信と充実が望まれる。地域連携として医療相談室が窓口となり、入退院支援、患者相談、地域との連携など運営している。紹介患者の受け入れ後の対応については、病院のシステムとして確立することを期待する。

地域とのネットワーク会議では、各医療・施設との連携会議などは現在中止の状況にあるが、地域連携パスなども含め情報共有の充実にも期待する。また、地域に向けた医療に関する教育活動においても、健康増進活動など行われているものの、さらなる企画・運営の取り組みに期待する。同時に地域の医療・介護従事者に向けた教育活動に関しても、病院として要望に応えるべく積極的な活動に期待する。

8. チーム医療による診療・ケアの実践

医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、療法士、管理栄養士、事務職員等の多職種が協力し、チーム医療による適切な診療・ケアを実践している。各部署で適切な体制が整備され、手順等を遵守して診療・ケアの実践に努めている。個々のケアについては、外来診療の実施、診断的検査の確実・安全な実施、入院の決定、診断・評価に基づく診療計画の作成、医療相談や退院相談への対応、患者の円滑な入院、また医師や看護師による病棟業務の推進、褥瘡の予防と治療、栄養管理と食事評価に関する対応、患者や家族への退院支援、継続した診療とケアの実施等が適切に行われている。クリニカル・パスについては今後の取り組みに期待する。医療の標準化や患者の医療参加を促すためにも活用範囲なども適切である。

身体拘束に関しては、委員会のもとに新たに発足された身体拘束最小化チームの今後の継続的な対応に期待したい。初診・再来患者の対応手順・マニュアルなどに基づき、受診までの円滑なシステムが確立している。同時に、外来患者の待ち時間調査も行われ、また時間の把握とともに待ち時間短縮に向けた工夫や改善の取り組みも行われている。

9. 良質な医療を構成する機能

良質な医療を構成する機能について、病院の規模や地域の需要に合った体制が整備されている。部門毎で責任体制、管理体制なども整備され、機能も含め適切に発揮されている。個々の機能としては、薬剤管理機能、画像診断機能、臨床検査機能、栄養管理機能、リハビリテーション機能、情報管理機能、輸血・血液管理機能、医療機器管理機能、洗浄・滅菌機能などの各部門が、それぞれ効率的な運営と業務が遂行されている。特にリハビリ部門では、リハビリの系統のかつ連続性を担保し、多職種評価やカンファレンスを重ね、標準化が図られており適切に運営されている。また、薬剤管理機能においても、病院全体の薬剤管理が適切に行われている。一方、画像診断機能では、診断の質を上げるためにも、読影システムの構築が望まれる。また、洗浄・滅菌機能でも質の向上について見直しを期待したい。

10. 組織・施設の管理

予算づくりはスケジュールに基づき職員への周知も含めシステムとして稼働している。会計窓口の収納業務、医事業務、未収金の管理がシステム化され、また、医師の関与のもとでレセプト点検、査定・返戻の対応が実施されている。業務委託選定方法はグループ主導ではあるが、業務の質や効率性、費用対効果を検討したうえで決定され、監査のシステムも含め確立している。

主要な施設・設備の日常点検や年次保守計画に基づく保守管理と緊急時の体制が整備されている。感染性廃棄物の取り扱いや管理は確立しているが、感染性廃棄物の掲示については整備が望まれる。敷地内は禁煙であり、患者への周知はされている。災害時の備蓄は必要数が整備されており、定期的な非常用電源の確認なども行われている。緊急連絡網の整備と周知がなされ、大規模災害時のマニュアルは病院

規模に合った内容で作成している。地域と協力した大規模災害に関する訓練なども企画・実施することを期待したい。保安業務や施設・設備の管理については、病院の規模に応じた体制とともに整備されている。

1 患者中心の医療の推進

評価判定結果

1.1	患者の意思を尊重した医療	
1.1.1	患者の権利を明確にし、権利の擁護に努めている	A
1.1.2	患者が理解できるような説明を行い、同意を得ている	B
1.1.3	患者と診療情報を共有し、医療への患者参加を促進している	A
1.1.4	患者支援体制を整備し、患者との対話を促進している	A
1.1.5	患者の個人情報適切に取り扱っている	B
1.1.6	臨床における倫理的課題について継続的に取り組んでいる	A
1.2	地域への情報発信と連携	
1.2.1	必要な情報を地域等へわかりやすく発信している	B
1.2.2	地域の医療機能・医療ニーズを把握し、他の医療関連施設等と適切に連携している	B
1.2.3	地域に向けて医療に関する教育・啓発活動を行っている	B
1.3	患者の安全確保に向けた取り組み	
1.3.1	安全確保に向けた体制が確立している	B
1.3.2	安全確保に向けた情報収集と検討を行っている	A
1.3.3	医療事故等に適切に対応している	A
1.4	医療関連感染制御に向けた取り組み	
1.4.1	医療関連感染制御に向けた体制が確立している	A
1.4.2	医療関連感染制御に向けた情報収集と検討を行っている	A
1.5	継続的質改善のための取り組み	
1.5.1	業務の質改善に向け継続的に取り組んでいる	A

1.5.2	診療の質の向上に向けた活動に取り組んでいる	B
1.5.3	患者・家族の意見を活用し、医療サービスの質向上に向けた活動に取り組んでいる	A
1.5.4	倫理・安全面などに配慮しながら、新たな診療・治療方法や技術を導入している	B
1.6	療養環境の整備と利便性	
1.6.1	施設・設備が利用者の安全性・利便性・快適性に配慮されている	A
1.6.2	療養環境を整備している	A
1.6.3	受動喫煙を防止している	B

2 良質な医療の実践 1

評価判定結果

2.1	診療・ケアにおける質と安全の確保	
2.1.1	診療・ケアの管理・責任体制が明確である	A
2.1.2	診療記録を適切に記載している	B
2.1.3	患者・部位・検体などの誤認防止対策を実践している	B
2.1.4	情報伝達エラー防止対策を実践している	A
2.1.5	薬剤の安全な使用に向けた対策を実践している	B
2.1.6	転倒・転落防止対策を実践している	A
2.1.7	医療機器を安全に使用している	A
2.1.8	患者等の急変時に適切に対応している	B
2.1.9	医療関連感染を制御するための活動を実践している	A
2.1.10	抗菌薬を適正に使用している	A
2.1.11	患者・家族の倫理的課題等を把握し、誠実に対応している	B
2.1.12	多職種が協働して患者の診療・ケアを行っている	A
2.2	チーム医療による診療・ケアの実践	
2.2.1	来院した患者が円滑に診察を受けることができる	A
2.2.2	外来診療を適切に行っている	A
2.2.3	診断的検査を確実・安全に実施している	A
2.2.4	入院の決定を適切に行っている	A
2.2.5	診断・評価を適切に行い、診療計画を作成している	A
2.2.6	診療計画と連携したケア計画を作成している	A
2.2.7	患者・家族からの医療相談に適切に対応している	A

2.2.8	患者が円滑に入院できる	A
2.2.9	医師は病棟業務を適切に行っている	A
2.2.10	看護・介護職は病棟業務を適切に行っている	A
2.2.11	患者主体の診療・ケアを心身両面から適切に行っている	B
2.2.12	投薬・注射を確実・安全に実施している	A
2.2.13	輸血・血液製剤投与を確実・安全に実施している	A
2.2.14	重症患者の管理を適切に行っている	A
2.2.15	褥瘡の予防・治療を適切に行っている	A
2.2.16	栄養管理と食事支援を適切に行っている	A
2.2.17	症状などの緩和を適切に行っている	A
2.2.18	慢性期のリハビリテーション・ケアを適切に行っている	A
2.2.19	療養生活の活性化を図り、自立支援に向けて取り組んでいる	A
2.2.20	身体拘束（身体抑制）の最小化を適切に行っている	B
2.2.21	患者・家族への退院支援を適切に行っている	A
2.2.22	必要な患者に継続した診療・ケアを実施している	A
2.2.23	ターミナルステージへの対応を適切に行っている	B

3 良質な医療の実践 2

評価判定結果

3.1	良質な医療を構成する機能 1	
3.1.1	薬剤管理機能を適切に発揮している	A
3.1.2	臨床検査機能を適切に発揮している	B
3.1.3	画像診断機能を適切に発揮している	B
3.1.4	栄養管理機能を適切に発揮している	A
3.1.5	リハビリテーション機能を適切に発揮している	A
3.1.6	診療情報管理機能を適切に発揮している	A
3.1.7	医療機器管理機能を適切に発揮している	A
3.1.8	洗浄・滅菌機能を適切に発揮している	B
3.2	良質な医療を構成する機能 2	
3.2.1	病理診断機能を適切に発揮している	A
3.2.2	放射線治療機能を適切に発揮している	NA
3.2.3	輸血・血液管理機能を適切に発揮している	A
3.2.4	手術・麻酔機能を適切に発揮している	NA
3.2.5	集中治療機能を適切に発揮している	NA
3.2.6	救急医療機能を適切に発揮している	NA

4 理念達成に向けた組織運営

評価判定結果

4.1	病院組織の運営	
4.1.1	理念・基本方針を明確にし、病院運営の基本としている	A
4.1.2	病院運営を適切に行う体制が確立している	B
4.1.3	計画的・効果的な組織運営を行っている	A
4.1.4	院内で発生する情報を有効に活用している	A
4.1.5	文書管理に関する方針を明確にし、組織として管理する仕組みがある	B
4.2	人事・労務管理	
4.2.1	役割・機能に見合った人材を確保している	A
4.2.2	人事・労務管理を適切に行っている	A
4.2.3	職員の安全衛生管理を適切に行っている	B
4.2.4	職員にとって魅力ある職場となるよう努めている	A
4.3	教育・研修	
4.3.1	職員への教育・研修を適切に行っている	B
4.3.2	職員の能力評価・能力開発を適切に行っている	A
4.3.3	学生実習等を適切に行っている	A
4.4	経営管理	
4.4.1	財務・経営管理を適切に行っている	A
4.4.2	医事業務を適切に行っている	A
4.4.3	効果的な業務委託を行っている	A

4.5 施設・設備管理

4.5.1	施設・設備を適切に管理している	B
-------	-----------------	---

4.5.2	購買管理を適切に行っている	A
-------	---------------	---

4.6 病院の危機管理

4.6.1	災害時等の危機管理への対応を適切に行っている	A
-------	------------------------	---

4.6.2	保安業務を適切に行っている	A
-------	---------------	---

年間データ取得期間： 2023年 4月 1日～2024年 3月 31日
 時点データ取得日： 2024年 9月 30日

I 病院の基本的概要

I-1 病院施設

- I-1-1 病院名： 医療法人社団明日佳 白石明日佳病院
 I-1-2 機能種別： 慢性期病院
 I-1-3 開設者： 医療法人
 I-1-4 所在地： 北海道札幌市白石区東札幌五条5-2-5

I-1-5 病床数

	許可病床数	稼働病床数	増減数(3年前から)	病床利用率(%)	平均在院日数(日)
一般病床					
療養病床	219	219	+19	95.6	334
医療保険適用	219	219	+19	95.6	334
介護保険適用					
精神病床					
結核病床					
感染症病床					
総数	219	219	+19		

I-1-6 特殊病床・診療設備

	稼働病床数	3年前からの増減数
救急専用病床		
集中治療管理室 (ICU)		
冠状動脈疾患集中治療管理室 (CCU)		
ハイケアユニット (HCU)		
脳卒中ケアユニット (SCU)		
新生児集中治療管理室 (NICU)		
周産期集中治療管理室 (MFICU)		
放射線病室		
無菌病室		
人工透析		
小児入院医療管理料病床		
回復期リハビリテーション病床		
地域包括ケア病床		
特殊疾患入院医療管理料病床		
障害者施設等入院基本料算定病床		
緩和ケア病床		
精神科隔離室		
精神科救急入院病床		
精神科急性期治療病床		
精神療養病床		
認知症治療病床		

I-1-7 病院の役割・機能等

--

I-1-8 臨床研修

I-1-8-1 臨床研修病院の区分

- 医科 1) 基幹型 2) 協力型 3) 協力施設 4) 非該当
 歯科 1) 単独型 2) 管理型 3) 協力型 4) 連携型 5) 研修協力施設
 非該当

I-1-8-2 研修医の状況

- 研修医有無 1) いる 医科 1年目： 人 2年目： 人 歯科： 人
 2) いない

I-1-9 コンピュータシステムの利用状況

- 電子カルテ 1) あり 2) なし 院内LAN 1) あり 2) なし
 オーダリングシステム 1) あり 2) なし PACS 1) あり 2) なし

